

# ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2025年7月

# 販促・魅力発信

- 6月28日、29日の2日間、川崎市のイトーヨーカドー川崎店・グランツリー武蔵小杉店にて、福島相双復興推進機構の主催で、**福島県の水産加工品の販売会である「ふくしま常磐大漁市」を出店した。**
- 本イベントでは、福島県漁連をはじめとした**福島県の水産加工業者等11社の商品約30品を販売。**加えて、山菱水産の「福島丸めばちまぐろ切落し」やかねいし商店の「釜茹で真だこ」などを使った**海鮮丼（3種類）の販売も実施した。**
- また、福島県漁連の「めひかり唐揚げ」「さんまのポーポー焼き」などの試食を実施した。
- 開催期間中は多くのお客様にご来場いただいた。引き続き、こうした支援を通じて福島県産品の販路拡大を進める。

## ふくしま常磐大漁市 in イトーヨーカドー川崎店・グランツリー武蔵小杉店（川崎市）



売場の様子



常磐もので作るお弁当の提案

### ■ 来場者の声

「福島に親戚がいるので、近所のスーパーで福島の魚に出会えて嬉しい。」「ポーポー焼きを試食してみたら美味しかったので買っていく。お弁当にもいいおかずになりそう。」「いつも魚を食べない子供が、試食のめひかりを食べて美味しいと言ったので買いたい。」「福島応援しなきゃ！何か買って帰りたい！」

- 東京電力が福島県産品の美味しさや魅力を伝えるために実施している「発見！ ふくしま」の取り組みの一環として、7月24日、25日の2日間、J R新橋駅前SL広場等で開催された**第28回「新橋こいち祭」に出店した。**
- 会場では福島県産「常磐もの」のメヒカリの唐揚げ、うに貝焼き、ホタテクリーム春巻き、日本酒等を合計約1,800食販売した。

## 第28回新橋こいち祭

- 日程：7月24日（木）～25日（金）
- 場所：東京都港区新橋駅前西口 S L 広場



理解釀成

- **ALPS処理水に係るモニタリングの結果を一目でわかるマーク形式で表示**するページについて、**Yahoo!JAPANのトップページに**  
**バナー広告を掲載。**

## ALPS処理水に係るモニタリングページ（抜粋）

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと

- ALPS処理水って何？  
本当に安全なの？
- トリチウムって何？
- なぜALPS処理水を  
処分しなければ  
ならないの？
- 本当に海洋放出しても  
大丈夫なの？
- 近海でとれた  
魚は大丈夫なの？

ALPS処理水に係る  
モニタリング

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

Twitter Facebook Line Messenger

日本語 | English

安全対策・  
風評対策の取組 > 関連コンテンツ >

### ALPS処理水に係るモニタリング

ALPS処理水は、放出前に、含まれる放射性物質の濃度測定を行い、安全基準を下回っていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出が行われることから、近傍に生息する魚などの食品の安全上の問題は生じません。さらに、放出前後で、海水、魚類、海藻類のモニタリングを強化して実施し、状況を確認していきます。

#### ALPS処理水の分析結果

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、  
いずれも基準を満たしていることを確認しました

※7月10日に採取を行ったALPS処理水（K4-Aタンク）  
※基準：トリチウム以外の告示濃度比値和1未満

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、  
いずれも基準を満たしていることを確認しました

※12月22日に採取を行ったALPS処理水（K4-Bタンク）  
※基準：トリチウム以外の告示濃度比値和1未満

#### 東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果（海水・魚に含まれるトリチウム）

現在の状態 ※

異常なし

※最新の各種間での分析結果をもとにしています

凡例

- 異常なし：「放出停止判断レベル」（設備の運用状況等の確認が必要な指標）を超えていないときに表示
- ⚠ 「放出停止判断レベル」を超えたときに表示

※「放出停止判断レベル」は、「放水口付近で700Bq/L」「放水口付近の外側10km四方内で30Bq/L」と定めています。これを超えた場合でも、周辺海域のトリチウム濃度は安全基準60,000 Bq/LやWHO飲料水基準10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態です。

## Yahoo!JAPAN バナー広告



ページはこちら



- 「ALPS 処理水について知ってほしい5つのこと」をそれぞれ1分程度でわかりやすく解説する動画について動画広告を展開。  
(動画はそれぞれ画像左下の2次元コードからご覧いただけます。)

## 1分程度でわかりやすく解説する動画

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**ALPS  
処理水**

**動画で解説**  
ALPS 処理水って何？  
本当に安全なの？




- ① ALPS処理水って何？  
本当に安全なの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**ALPS  
処理水**

**動画で解説**  
トリチウムって何？




- ② トリチウムって何？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**ALPS  
処理水**

**動画で解説**  
なぜALPS処理水を  
処分しなければならないの？




- ③ なぜALPS処理水を  
処分しなければならないの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**ALPS  
処理水**

**動画で解説**  
本当に海洋放出をしても  
大丈夫なの？




- ④ 本当に海洋放出をしても  
大丈夫なの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**ALPS  
処理水**

**動画で解説**  
近海でとれた魚は  
大丈夫なの？




- ⑤ 近海でとれた魚は  
大丈夫なの？

- 本年7月5日に開催された「標葉祭り2025 in 双葉」において、**東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS処理水に関するブースを出展**。来場者の方に福島第一原子力発電所のジオラマを用いて説明するとともに、パンフレットの配布を行った。

## イベントの様子



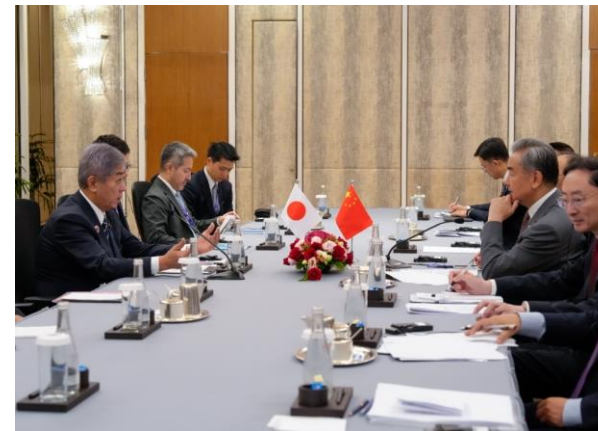
- 7月10日（木）、ASEAN関連外相会議に出席するためマレーシアを訪問中の**岩屋毅外務大臣は、王毅（おう・き）中国外交部長と会談**を行いました。
- **日本産水産物の輸入規制について、両外相は、中国当局による日本産水産物の輸入再開に係る公告の発出を含め、関連のプロセスが着実に進んでいることを確認するとともに、岩屋大臣から、残された10都県産の輸入規制の早期撤廃を改めて求めました。**

【外務省】 日中外相会談

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/a\\_o/c\\_m2/ch/pageit\\_000001\\_02143.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/c_m2/ch/pageit_000001_02143.html)



（写真提供：外務省HP）



（写真提供：外務省HP）

# 国際原子力機関（IAEA）による分析機関間比較のため、 海水希釈前のALPS処理水の採取が行われました

販促・  
魅力発信

理解醸成

安全確保

9

- 7月17日（木）、**IAEAが実施する分析機関間比較※1**のために、東京電力は、東京電力福島第一原子力発電所構内において、**IAEA関係者の立会いの下で、測定・確認用タンク※2から海水希釈前のALPS処理水の採取**を行いました。
- **今回の分析機関間比較**は、2025年3月に報告書が公表されたALPS処理水の放射性核種分析における第3回の分析機関間比較に続き、**4回目**となります。
- 今回採取されたサンプルは、今後、IAEA及び韓国、スイス、中国、フランスの分析機関において、放射性物質の分析が行われる予定です。

※1 分析機関間比較：IAEAが日本政府との間で署名した「ALPS処理水の取扱いの安全性に係るレビューの包括的な枠組みに関する付託事項」に基づき2022年から実施している、サンプリング・独立した分析・データの裏付けを目的としたモニタリング活動。モニタリング活動の中で、IAEA及び第三国の分析機関が独立して分析を行い、東京電力の分析結果と比較することで、ALPS処理水のモニタリングを実施する東京電力の能力を検証する。

※2 測定・確認用タンク：東京電力福島第一原子力発電所構内の貯蔵タンク等からALPS処理水を受け入れ、ALPS処理水の希釈・放出前の分析に当たって代表的な分析試料を採取するための循環・攪拌を行うタンク。

【経済産業省】 国際原子力機関（IAEA）による分析機関間比較のため、海水希釈前のALPS処理水の採取が行われました  
<https://www.meti.go.jp/press/2025/07/20250717001/20250717001.html>



（写真提供：経済産業省HP）



（写真提供：経済産業省HP）

**安全確保**

## 東京電力

### ○海水中トリチウムを測定

- 放水口周辺 4 地点毎日、その他 6 地点で週 2 回（放出期間中）、放水口周辺 4 地点週 1 回、その他 6 地点で月 1 回（放出停止期間中）迅速分析を実施。

## 水産庁

### ○水産物は年約380検体でトリチウムを測定

- ①放水口の北北東へ約 4 km、②放水口の南南東へ約 5 kmの **2 地点で、週 4 回迅速分析を実施**（放出のない期間は週 1 回）

## 環境省

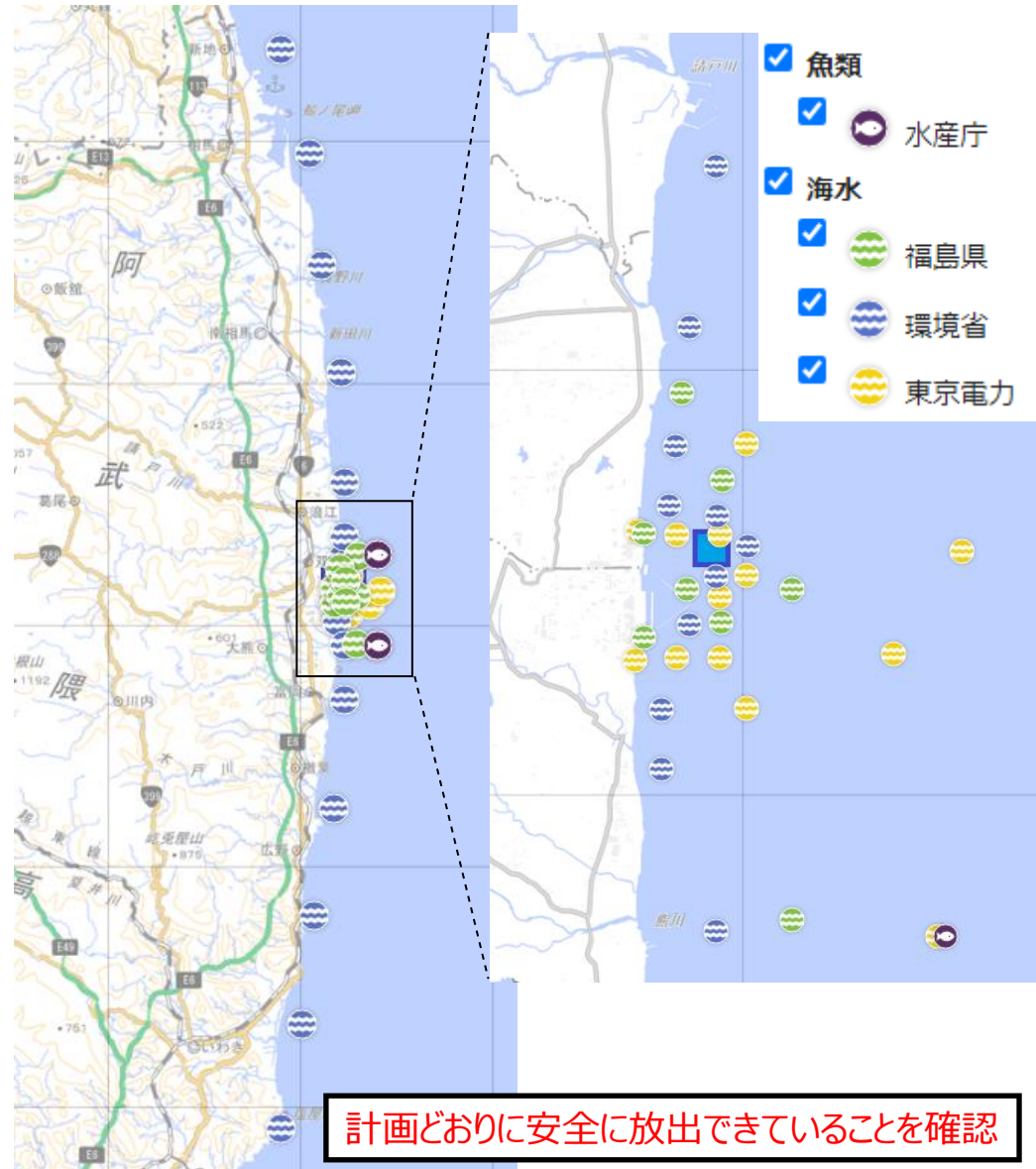
### ○海水中トリチウムを測定

- 放出期間中、放水口近傍 3 地点で期間中 2 回、その他沿岸20地点で期間中 1 回、迅速分析を実施。

## （参考）原子力規制庁

### ○海水中トリチウムを精密分析にて測定。

- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。



計画どおりに安全に放出できていることを確認

- 一昨年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、岩手日報、河北新報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年7月は2回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

## 新聞への広告掲載内容

（左上：モニタリング状況のお知らせ、右下：国際原子力機関によるALPS処理水の海洋放出に関する安全性レビュー等）

### 福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ (2025年7月)

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視（モニタリング）を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標（放出停止判断レベル：700ベクレル/ℓ）を大きく下回り、計画どおり安全に放出できていることを確認しています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。

**3km圏内（海内を離く）**

**20km圏内**

|                   | エリア    | 海水の測定結果【単位：ベクレル/ℓ】<br>（2025年6月11日～6月末までに得られた測定結果の最大値） |
|-------------------|--------|-------------------------------------------------------|
| トリチウム<br>【迅速測定※1】 | 3km圏内  | 検出せず（＜8.5）                                            |
|                   | 20km圏内 | 検出せず（＜8.5）                                            |
| セシウム134※2         | 3km圏内  | 検出せず（＜0.98）                                           |
|                   | 20km圏内 | 検出せず（＜0.0014）                                         |
| セシウム137※2         | 3km圏内  | 検出せず（＜0.99）                                           |
|                   | 20km圏内 | 0.018                                                 |

**【参考】トリチウム濃度の比較**

※1：トリチウムの検出下限値はトリチウム濃度10ベクレル/ℓ未満とし、測定結果を連続して迅速に結果を得る測定  
※2：福島県周辺海域における過去の測定結果は、セシウム134：0.000061ベクレル/ℓ～0.028ベクレル/ℓ、セシウム137：0.00028ベクレル/ℓ～0.45ベクレル/ℓ（過去日本の環境放射線監視機構） 範囲：2019年

**海域モニタリングの結果**

当社が測定した海水や汚染物の放射性物質濃度には、有意な変動は確認されていません。詳細は当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water/treatment/monitoring/>

**包括的モニタリング観測システム（ORBS）**

当社以外の各機関（環境省、水産庁、原子力規制委員会、福島県）が測定した海水および汚染物の放射性物質濃度も有意な変動は確認されていません。詳細は各機関の分析結果を一元的に確認できるORBSをご覧ください。  
<https://www.monitororbs.jp/>

**福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組をお伝えします Vol.48**

国際原子力機関（IAEA）<sup>※1</sup>によるALPS処理水の海洋放出に関する安全性レビュー（放出開始後4回目）等が行われました。

**IAEAによるALPS処理水の海洋放出に関する安全性レビュー**

- ▶2025年5月26日から30日にかけて、IAEA職員と国際専門家<sup>※2</sup>が来日し、海洋放出後4回目の安全性レビューが行われました。
- ▶同レビューでは、ALPS処理水の海洋放出に関連するモニタリングについての日本の取組みを中心に、国際安全基準に基づいて、議論しました。28日には福島第一原子力発電所にて、ALPS処理水の放出設備の状況についての確認等を行いました。
- ▶30日にIAEAは、ALPS処理水の海洋放出が国際的な安全基準に合致し続けている旨のプレスリリースを出しています。
- ▶当社は、安全性レビューに、引き続き、真摯に対応してまいります。

IAEAのカルーノ長官  
（2025年5月26日撮影）

ALPS処理水放出設備の  
状況確認の様子  
（2025年5月28日撮影）

海水希釈後のALPS処理水を  
採取している様子  
（2025年6月17日撮影）

※1：原子力の安全・平和的利用のために活動する国際機関  
※2：アルゼンチン、カナダ、韓国、中国、米国、ベトナム、ロシア  
※3：ALPS処理水の希釈・放出前の分析に当たって代表的な分析試験を採取するための循環・検閲を行うタンク

ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください  
▶[処理水ポータルサイト]  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water/treatment/>

IAEAによる安全性レビューについてはこちらをご覧ください  
▶[IAEAによるレビューで確認された事項]  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water/treatment/safetycheck/#/view-point>

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策  
▶[皆さまの意見をお聞かせください]  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>

**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所  
〒975-1301 福島県双葉郡大畑大字大字東22